

圏央道開通区間概要

●首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約170kmが開通しています。

●今回開通区間の概要

路線名：国道468号 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

①開通区間：茅ヶ崎JCT（茅ヶ崎市西久保）^{にしほ}～寒川北IC（高座郡寒川町宮山）^{こうざん さむかわ まちみやま}

開通日時：平成25年4月14日（日）15時

延長：5.1 km

車線数：4車線

開通IC・JCT：茅ヶ崎JCT、寒川南IC※、寒川北IC

アクセス道路：新湘南パパス、(主)伊勢原藤沢線、(主)相模原茅ヶ崎線

※寒川南ICはハーフICのため、寒川北IC方面への乗り入れ、寒川北IC方面からの降車のみのご利用となります。

②開通区間：海老名IC（海老名市中新田）^{なかしん でん}～相模原愛川IC（相模原市南区当麻）^{みなみくたいま}

開通日時：平成25年3月30日（土）15時

延長：10.1 km

車線数：4車線

開通IC：圏央厚木IC、相模原愛川IC

アクセス道路：国道129号、(主)相模原町田線

●今回開通区間の位置図

